

平成29年度 放射線科業績報告

画像診断件数(CT、MRI、核医学)

IVR件数・放射線治療件数

放射線科紹介(画像診断)件数

患者数・調定額

平成29年度の目標達成状況

学術業績

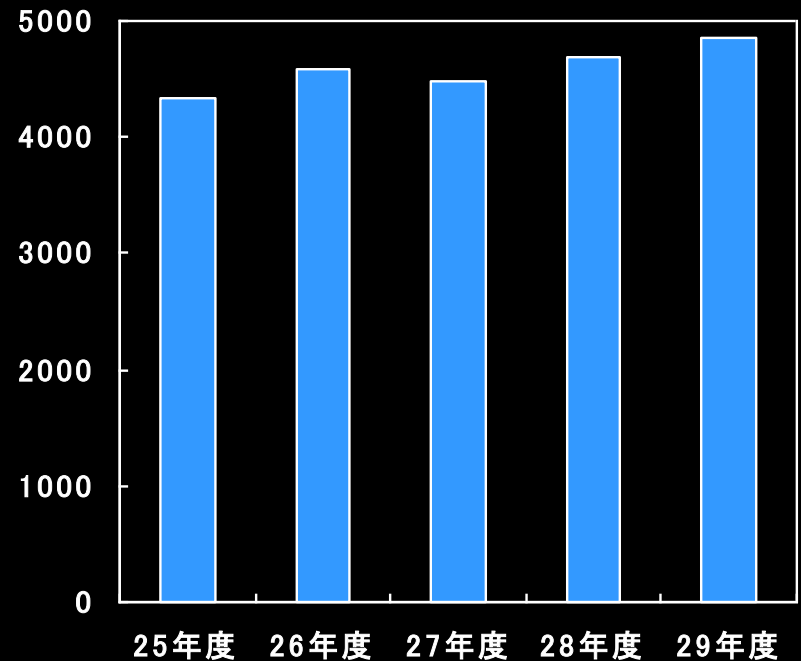
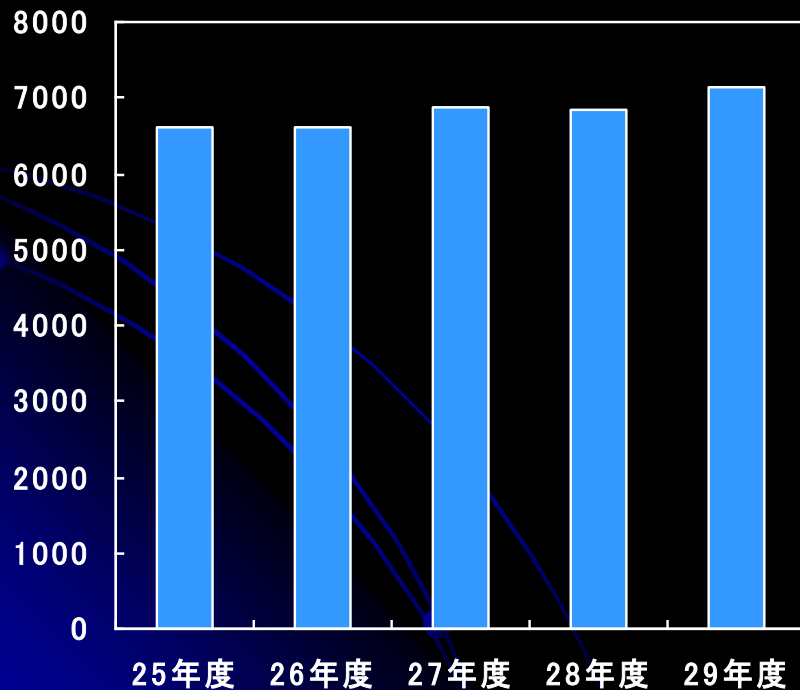
平成30年7月9日

CT件数

25年度 6,627
26年度 6,617
27年度 6,861
28年度 6,827
29年度 7,152

MRI件数

25年度 4,343
26年度 4,594
27年度 4,485
28年度 4,681
29年度 4,857



核医学件数

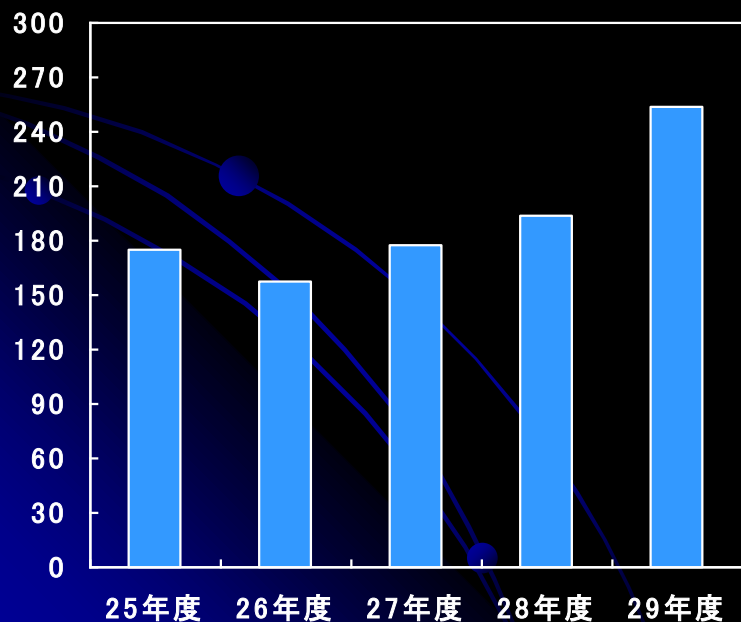
25年度 175

26年度 157

27年度 177

28年度 194

29年度 254



IVR件数

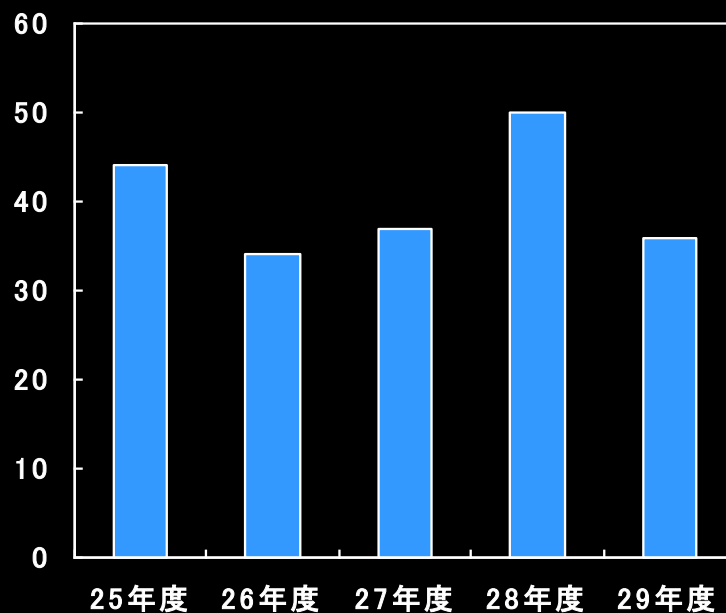
25年度 44

26年度 34

27年度 37

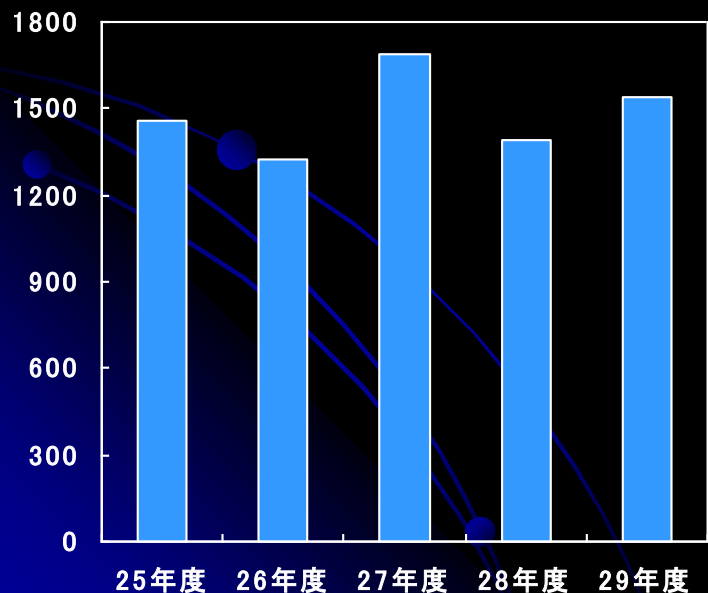
28年度 50

29年度 36



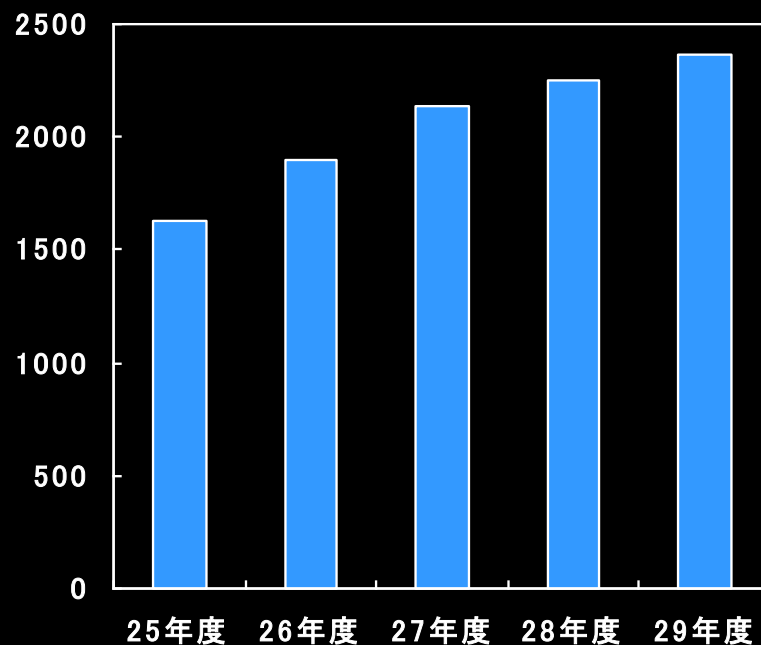
放射線治療件数

25年度	1,461
26年度	1,321
27年度	1,689
28年度	1,389
29年度	1,536



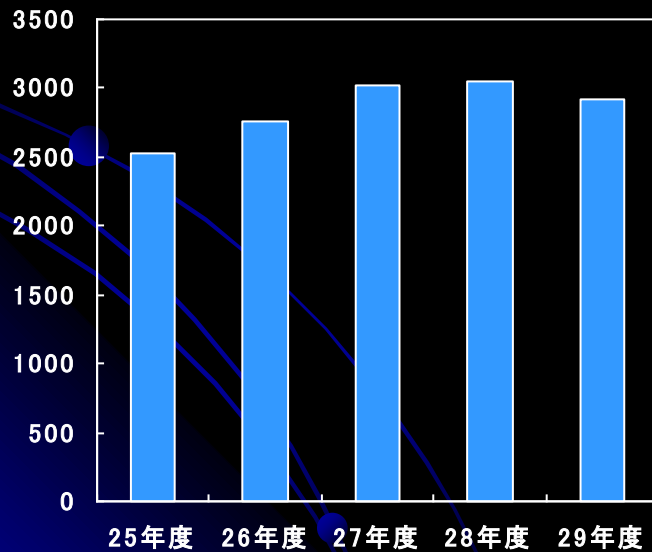
放射線科 紹介数(診療科別%)

25年度	1,627	(20%)
26年度	1,898	(23%)
27年度	2,142	(22%)
28年度	2,249	(23%)
29年度	2,366	(24%)

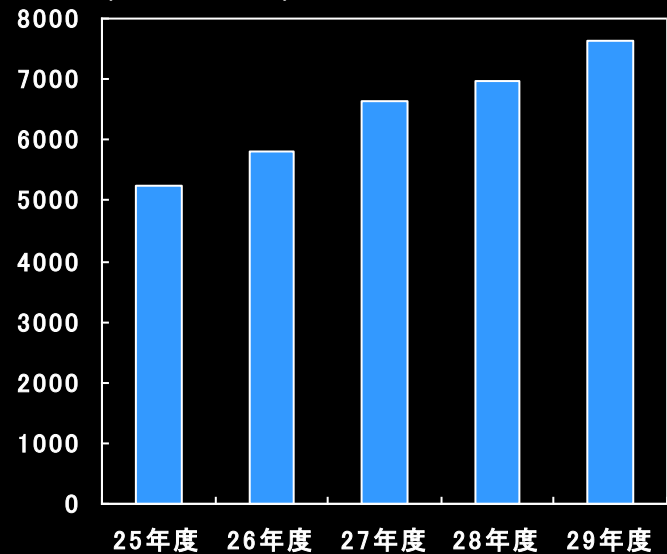


放射線科外来数・調定額

25年度	2,527	52,555,869
26年度	2,761	58,036,663
27年度	3,018	66,223,520
28年度	3,050	69,641,449
29年度	2,922	76,357,851



(単位;万円)



平成29年度の目標達成状況

平成29年当初の

現状;画像診断管理加算2の再取得(平成28年12月)

平成29年度中の

目標;画像診断管理加算2の安定維持

画像診断管理加算2とは？

翌診療日までに8割以上の画像診断報告が必要

→概算で、約200万円/月の増収効果

平成29年4月1日～平成30年3月31日まで、

翌営業日までに所見報告した数/合計件数、%の順

入院外来検査;CT+MRI;10814/11148、97%

RI;223/254、88%

→管理加算2の安定維持に成功

学術業績

藤田 眞、岡田篤哉、鰐本美津子. Geometric interpretation of vector space in spin one-half systems for approaching the quantum-mechanical principles of MR imaging.

第76回日本医学放射線学会総会 2017年4月13-16日 横浜市

藤田 眞、真野 純司. 磁気共鳴再訪: スピン状態ベクトル空間への視覚的アプローチ.

第45回日本磁気共鳴医学会大会 2017年9月14日 宇都宮市

•一般撮影

	H27年度	H28年度	H29年度
レントゲン撮影	21,757件	22,664件	23,332件
病棟撮影	1,066件	1,351件	1,610件
OP室撮影	482件	530件	680件
骨密度検査	387 (ドック135)	431 (ドック114)	664(ドック131)

H28年度 超音波骨密度

診療報酬 80点

ドック オプション 1,296円

H29年度 骨密度DEXA

診療報酬 360点

ドック オプション

DEXA(10月~) 3,600円

■内視鏡・気管支鏡X線件数

26年度	113件・174件
27年度	149件・171件
28年度	202件・154件
29年度	154件・132件

■ブロック(ペイン)件数

26年度	169件
27年度	221件
28年度	266件
29年度	416件

■循環器検査件数

26年度	29件
27年度	210件
28年度	296件
29年度	316件

■心臓CT件数

26年度	2件
27年度	62件
28年度	105件
29年度	113件

学術業績

- 肺癌のCTによる胸膜浸潤・癒着術前評価法の考案
医療技術部 放射線科 西田 高大

近畿地域診療放射線技師会学術大会 平成30年2月11日(日)



優秀演題賞

- 当院におけるCT被ばく低減の取組とその効果
医療技術部 放射線科 西田 高大
- MRI更新期間中の車載モバイル型MRIの導入
医療技術部 放射線科 西林 賢二

日本医療マネジメント学会 第12回 兵庫支部 学術集会
平成30年2月18日(日)

医療技術部 放射線科

- 3D画像や多断面画像構築など、増大する診療支援画像提供への積極的な取り組み。
- H30年度の目標
増えるモダリティーへの対応、ダ・ヴィンチ手術への業務参加、新設した心臓ドックへの取組など各診療科からの依頼に対し効率的に対応できるよう人材の教育・育成に取り組む。